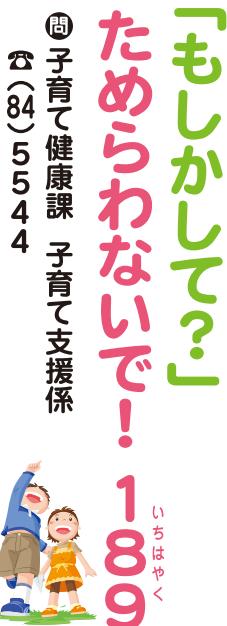


◀◀◀ 11月は児童虐待防止推進月間です ▶▶▶



●子育て健康課 子育て支援係
☎(84)5544

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、児童虐待問題は社会全体で解決すべき重要な課題となっています。

児童相談所虐待対応ダイヤル (通話料無料)	☎189 (お住まいの地域の児童相談所につながります)
松田町子育て健康課	☎(84)5544
小田原児童相談所	☎(32)8000
子ども家庭110番(テレフォン相談) (午前9時~午後8時)	☎0466(84)7000

かながわ子ども家庭110番相談LINE「@kana_kodomo110」で検索して友だち追加



10月1日にJR松田駅前駅前町営臨時駐車場がリニューアルオープンしました。

JR松田駅北口のすぐ横でアクセスも良い町営臨時駐車場をぜひご利用ください。



未病改善「地産地消」

秋も深まり、すっかり日脚が短くなりました。今日は慶び申し上げます。

町民の皆さまのご理解とご協力により、第7波と呼ばれる感染症拡大を乗り越え、オミクロン株対応ワクチンの接種が始まっている状況ですが、まだまだ予断を許さない状況です。引き続き感染症予防対策を講じながら、『新たな日常』への対応を何卒よろしくお願ひします。

さて、神奈川県では健康寿命の延伸を目的として『未病改善』というキーワードを発信し、『食・運動・社会参加』を推奨しています。

松田町では、健康福祉センター2階に血圧や骨密度などの測定器を設置しています。ご自身の「健康の見える化」ができますので、定期的に健康福祉センターまでウォーキングし、3階の温浴施設でくつろいだ後、測定しましょう。

松田町長 本山 博幸

定されることをお勧めします。

“未病改善”的取り組みとして“食・運動・社会参加”を意識的に取り組むことで“健康寿命が延びる”とうたわれている中、ここでは“食をテーマ”として皆さんと一緒に考えてまいります。

よく聞く言葉として“地産地消”がありますが、その意味は、地域で生産されたさまざまな生産物や資源をその地域で消費することです。地産地消の範囲が狭ければ狭いほど、輸送コストがかからないことや新鮮なうちに食べられることなどのメリットがあります。

“健康寿命を延ばす”ためにも“食”することは大切です。今後は松田町内での栽培された食物を食べるよう心掛けてみてはいかがでしょうか?これから季節の日を増すごとに肌寒さを感じてまいりますので、くればれもご自愛くださいます。